

# えんだより

2019年  
11月号



NO. 164  
シャローム三育保育園

この度の台風により被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

改めて保育園運動会へのご参加、あたたかいご声援、本当にありがとうございました。台風の影響が心配されましたが予定通り開催できたことに感謝です。何よりも子どもたちがいっぱい練習した発表を見ていただき、ご家族と一緒に競技に参加できた経験は子どもたちにとって大切な宝物になったことでしょう。

今年度も後半に入り行事なども続きますが、ご家庭での生活習慣を整えて引き続き健康管理を宜しくお願いします。

園長

掲示板練習メッセージ 11月1日頃配信いたします



## 今月の予定



日	月	火	水	木	金	土
					1 お弁当持ち散歩 (1歳児以上)	2
3 文化の日	4 振替休日	5 体操教室	6	7 英語教室 (3.4.5歳児) 老人ホーム訪問 (4歳児)	8 内科健診 (乳児)	9
10	11 礼拝 クッキング (5歳児)	12 体操教室	13 さつまいも 掘り(5歳児)	14 英語教室 (3.4.5歳児)	15	26
17	18 礼拝	19 体操教室	20 避難訓練	21 英語教室 (4.5歳児)	22 クッキング (3.4.5歳児)	23 勤労感謝の日
24 	25 礼拝	26 体操教室	27 誕生会 クッキング (3.4.5歳児)	28 歯科健診	29 クリスマス会 リハーサル 保育園職員会議	30

「しつけの基本は会話から」

子どもたちの成長は日々目覚ましいものがあります。できることも増えて楽しいこともうれしいこともたくさん経験できるようになります。その一方で自分の思いがうまく伝わらないことや、思い通りに行かないもどかしさも増えていきます。こうした経験を一つ一つ乗り越えて行くためには大人の助けが必要です。

「子育ては忍耐だ」とよく言われますが、子どもを愛すればこそ、その思いが強ければ強いほど、つい厳しくなることもあると思います。親子といえども一人の人格を持った人間同士です。お互いの主張のすれ違い、ぶつかり合いも当然あります。そして親子ですからお互い遠慮はありませんだからこそ絶対的な実権を持つ親はその力の使い方に気を付ける必要があります。しつけといえども過度な言動や行動が習慣的になっていくと、無意識に暴言や暴力につながる危険性があります。普段から何気ない会話を増やし、たくさん子どもの話を聞いてあげてください。思いが伝わり合えればお互いのイライラも少なくなります。今一度我が家の「しつけ」を見直してみてください。

園長

### ～愛の鞭ゼロ作戦～

子どもを健やかに育てるために

- ① 子育てに体罰や暴言を使わない
- ② 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- ③ 爆発寸前のイライラをクールダウン
- ④ 親自身がSOSを出そう
- ⑤ 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

◇子育ての悩みがあるときは  
児童相談所全国共通ダイヤル「189」まで



### 子どもを健やかに育てるために ～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てをしていると、  
子どもが言うことを聞いてくれなくて、  
イライラすることもあります。  
つい、叩いたり怒鳴ったりしたくなることもありますよね。  
一見、体罰や暴言には効果があるように見えますが、  
恐怖により子どもをコントロールしているだけで、  
なぜ叱られたのか子どもが理解できていないこともあります。  
最初は「愛の鞭」のつもりでも、いつの間にか  
「虐待」へとエスカレートしてしまうこともあります。  
体罰や暴言による「愛の鞭」は捨ててしまいましょう。  
そして、子どもの気持ちに寄り添いながら、  
みんなで前向きに育んでいきましょう。

(厚生労働省健やか親子21ホームページ参照)

